

警城時報

石城の縣議戰況
小野氏辭退したため
井上氏優勢となる
山崎吉平氏の苦しい立場

石城の縣議戰況

小野氏辭退したため

井上氏優勢となる

山崎吉平氏の苦しい立場

政友會の縣議員公認候補者全部を得たとしても僅か六百
辭退した小名濱町小野晋平氏の票に過ぎず、鹿島、玉川等は野
謙讓の美徳については既に報道崎瀧藏氏の地盤之亦得票の見
した進みであるが、その結果平込み出たが、小名濱町は前記の
町井上茂作氏が代つて公認候補如く、江名、豊間、夏井、高久
者になつたが、小野氏と井上氏等は鈴木辰三郎氏の勢力範圍で
が交替になつたため地盤關係其
他から見ても打撃を蒙るに至
つたのは飯野村の山崎吉平氏で
ある、井上氏は大瀧發電所問題
に深く關係してゐる關係上平町
三千七百の有権者中から千數
百票の得票は殆んど確實で同時
に又小名濱町では小野氏が辭退
した關係上五百の有権者は大
部分井上氏に投するものと見
可く又神谷村は井上氏の出生地
である關係、同氏の絶對勢力地
と言ふ可く、三千八百の多數
有権者を有する内郷村は井上氏
の勞働者に対する同情心が因を
なして非常に歓迎されてゐるを
いふから小野氏の辭退によつて
井上氏の勢力は一躍數倍加した
ものと見ふ可く、當選は今から
疑ひなしと想像されてゐるに反
し、最も氣の毒な立場に在る山
崎吉平氏は居村飯野村の投票は

鷺清昇氏

正式受諾はせず

▲村社に昇格 平窪村社
社取訪神社は今回村社に列せら
れた。

平町の呉服類

一般に大暴落

衣更を控へた昨今の相場

俄に涼風が立つて来たといふ不三割安と言つた標準であるが合
景氣でもさうなる衣替への事着物として流行界を風靡してゐ
が氣にかかりぼつ／＼用意をせざるの如き原料及生産状態需
ねばならぬ季節となつたので平給關係からして當然今秋には相
町地方の呉服界を調べて見ると當の上仲相場を見ても至るで
すがに財界不況の祟りを受けてあらうと當業者間一般に觀測さ
し、最も氣の毒な立場に在る山崎吉平氏は居村飯野村の投票は
るに水綿物は二割安、絹織物は受けて伸び悩み依然七八割揚み

平禁酒會で

禁酒運動

九月一日は關東大震災四週年日
の當日に當るその追悼のた
め全國に亘つて禁酒運動を行
ふのであるが平禁酒會では役員總
出で在平各中等學校で宣傳ビラ
を撒布し禁酒講演を行った。

遂に捕はれた

貯金詐欺取犯人

十七歳の時から泥棒となる
上小川村生れ國井三郎

上小川村生れ前科二犯國井三郎海邊の小舟に假り寝し十九日
(三三)は幼少の頃より盜癖あり高村田尻方面を徘徊中家人の
隙を窺ひ婦人の金刺時計や金や筆筒の小抽斗から三百七十餘
品を竊取した以來箱糶ぎ専門と圓記入の郵便貯金通帳と實印を
なり大正十四年九月より相馬刑務所直に小水津局に至り本人
務所に一年服役し昨年九月出に頼まれたと偽り二百圓を拂ひ
獄したが一定の職もなく各地を戻し逃走して我孫子、千葉、兩
放浪し偶々平町邊りの花柳の巷國の各縣附近を轉々し東京で洋
に入り酒色に耽り去月十五日自服姿に替はり横濱方面を遊び歩
家の木炭四十俵を盗み出し平町廿六日上野驛から平野まで乗
の某商店へ賣却し新田町料理店車券を求め歸宅しやうとした途
に二日間流連し十七日多賀郡川中助川驛に下車したのが運のつ
尻に到り避暑客の雜踏にまぎれきで驛頭に於て助川驛取締巡查
毎日海水浴を爲す風を装ひ夜には捕はれた。

東北六縣を荒した 貴金屬専門の賊

湯本町で捕はる
平署内で自殺を計る

去る八月二十五日午前二時頃若後四時頃湯本町入尻質店に金屬
松市大町一の町時計商川俣善次郎を入質した男があるのが駐在
郎方に隣家の氏藤紙店の板塀を調査總出で嚴探した結果午後七
時頃某旅館に潜伏してゐた男を
越えて忍び入り寢室を通り過ぎ
て店頭に至り飾窓にあつた貴金
屬類純金丸形指輪二十個、十八
金メタル、金時計、金眼鏡、
寫真機等合計八百餘圓を竊取し
逃走した犯人があつたので縣警
署部では昨今宮城、岩手、青森
縣を跨りかけて貴金屬専門の賊
山形、新瀉、茨城、栃木等各縣
下を荒し廻つてゐる貴金屬専門
の犯人と目星をつき縣下各地で
中所持してゐた西洋剃刀を以て
咽喉をついて自殺せんとしたの
を係官が発見し未遂に終つたが
引續き警戒し乍ら余罪を取調中
である。

普選の心得

縣警察部の
パンフレットから

(一)
選挙の爲に投票をするといふ
ことは立憲治下に於ける國民
の最も重要な權利である同時
に最も重大なる義務である
此の重要な權利を棄て
ることは、其の他の者であらば
固よりのこと、他の衆議院議員
や、市町村會議員等の選舉
權及被選舉權を一定の期間禁
止せられるのであります。斯
様なことがあつては、立憲治
下に於ける國民の最大恥辱が
申せられるはなげなませぬ。
依つて選挙については一般に
得ねばならぬ事柄の概略を説
いて参考にしていただきます。
讀んで間違のないやうにせ
れんことを希冀致します。

